

「2026NARA武術太極拳フェスティバル 春の祭典」 加盟18団体から63チーム延べ684人が参加

奈良県武術太極拳連盟（会長 筒井寛昭）は、県内の太極拳愛好家が一堂に会し、各チームが音楽に合わせて集団演武を披露し、日頃の練習の成果を発表するとともに、交流を深めることを目的として、3月15日（日）「2026NARA武術太極拳フェスティバル 春の祭典」を“いかるがの里”「いかるがホール」で開催いたしました。

今回は加盟18団体から63チーム延べ684人の参加を得て、開会挨拶の後、演武が開始されました。

演武種目は、入門、初級、24式、総合、88式、呉式、楊式、陳式、推手、剣では32式、42式、陳式、扇では

陳式扇、木蘭扇、双扇、太極扇、22式太極扇や太極八法五歩、24式太極棍、24式太極扇、陳式太極刀等が発表され、また、ねんりんピック岐阜大会出場の奈良県代表チームによる特別演武も行われました。

「お水取りが終われば大和に春が来る」と古くから言われていますが、東大寺のお水取りも今朝（けさ）早朝（そうちょう）に萬行を迎えた事もあり、当日は空も晴れ、比較的暖かい穏やかな一日となりました。

来年以降も、更に盛り上がりのあるフェスティバルとなることを祈念し、報告といたします。

（奈良県武術太極拳連盟）



徒手、剣、扇、棍、刀など様々な演武



63チームそれぞれが特色ある演武を披露